

安全データシート

作成日：平成31年 4月 9日

1. 製品及び会社情報

製品名 : SKD 7-4562 ライトグレー

会社名 : 株式会社大建化学

住所 : 〒442-0835 愛知県豊川市新桜町通3丁目30番地5

担当部署 : 品質管理部

電話番号 : (0533)-86-5625

FAX番号 : (0533)-89-1751

推奨用途及び使用上の制限 : 各種樹脂用着色剤

整理番号 : NDC-1273

2. 危険性の要約

GHS分類

物理的・化学的危険性 : —

健康に対する有害性 : —

環境に対する有害性 : —

GHSラベル要素 : —

注意喚起語 : —

危険有害性情報 : —

注意書き

「安全対策」

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
取扱後は良く手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

「救急措置」

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。

「保管」

容器を密閉して換気の良いところで施錠し保管すること。

「破棄」

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の破棄物処理業者に業務委託すること。

国・地域情報

情報なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

成分名 : 酸化チタン、タルク、分散剤

対象となる範囲で含有する成分のみ記載

物質名	CAS No.	化合物 含有%	労安 番号	P R T R法		金属 含有%	備考
				一種	二種		
酸化チタン	13463-67-7	75-85	191				
カーボンブラック	1333-86-4	1-5	130				

金属化合物は、労働安全衛生法は化合物で、P R T R法は金属として表示します。

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、気分が悪ければ医師の指示を受ける。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服は直ちに脱ぎ、石鹼と大量の水で洗い流す。

目に入った場合 : 直ちに大量の水で洗眼した後、医師の指示をうける。

飲み込んだ場合 : 口の中を良く洗浄した後、医師の指示をうける。

5. 火災時の措置

消化剤 : 粉末、二酸化炭素、泡、水

特有の消化方法 : 呼吸器を着用して、上記の消化器を用いて消火する。

消火に用いた汚染された水を排水溝・土壌・河川・湖や海に排出しない。

汚染した水や土壌は地方条令に従って廃棄する。

消化を行う者の保護 : 適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 口に入れたり吸入したりしない。皮膚・目・衣服への接触を避ける。

漏出した場合は周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業に際しては保護具を着用する。

環境に対する注意事項 : 排水溝・土壌・河川・湖や海への汚染を防ぐ。

回収・中和 : 適切な保護具を着用し飛散せぬよう機械的に取り除き廃棄用の容器に入れる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 微粉末顔料は粉塵爆発の恐れがあるので、飛散せぬように取り扱う。

静電気の放出に対する予防措置をとる。熱及び発火源から遠ざける。

換気 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の換気を行う。

保管

技術的対策	: 乾燥した冷暗所に密閉して保管する。
混触危険物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管条件	: 施錠して保管すること。
容器包装材料	: 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	: 設定されていない。
設備対策	: 換気装置や集塵装置の接地などを適性に行う。
保護具	: 適切な呼吸器保護具、保護手袋、保護メガネ、保護衣を着用すること。
衛生対策	: 取扱後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 粉末
臭い	: 殆ど無臭
融点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
発火点	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度 (空気=1)	: データなし
比重	: データなし
溶解性	: データなし
オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の手扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	: データなし。
避けるべき条件	: データなし。
混触危険物質	: データなし
危険有害性のある分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
刺激性	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし

発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器／全身毒性— 単回暴露	: データなし
特定標的臓器／全身毒性— 反復暴露	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

1 2. 環境影響情報

水生環境急性有害性	: データなし
水生環境慢性有害性	: データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余破棄物	: 廃棄においては、「」関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方 公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器・包装	: 容器は清浄にいてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の 基準に従って適切な処分を行う。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
国連分類	: 国連の分類基準に該当しない。
国連番号	: なし
海洋汚染物質	: 該当しない。
国内規制	
陸上輸送	: 特別な規制はない。
特定の安全対策	: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように 積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

1 5. 適応法令

労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき有害物 該当 名称等を表示すべき有害物 該当
化学物質管理促進法 (P R T R法)	: 第1種指定化学物質 非該当 法第2条第2項、施行令第1条別表第1,

1 6. その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な手扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。